



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
令和2年度 12月号

みんなちがって、みんないい

校長 松本浩一



「わたしと小鳥とすずと」という金子みすゞさんの詩があります。そこには、「みんなちがって、みんないい」という一節があります。「みんなちがって、みんないい」はよく知られたフレーズですが、この当たり前のことが、実はけっこう難しいものです。なぜでしょう。それは、私たちがたくさんの人と関わりながら生活しているので、つい、人と自分を比べてしまって、よいとか悪いとか決めつけてしまうことが多いからではないでしょうか。

「みんなと比べて、自分はなんとだめなんだろう」「みんなはできるのに、自分はどうしてできないんだろう」と思い悩み、どんどん自信をなくしてしま

ったことはありませんか。反対に、自分は人よりできると優越感をもち、人を馬鹿にしたたり、いやがることを言ったりしてしまったことはありませんか。

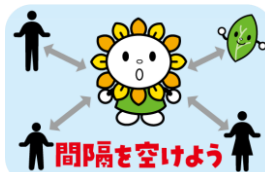
人と比べる必要はまったくありません。自分という人間は、辛いことから逃げずに立ち向かうことができる、周りの人と力を合わせてがんばることができる、困っている人を見ると助けずにはいられない、そんな素敵な自分が自分の中にいる、そのことに気づいてほしいと思います。そして、自分を好きになってください。

自分を大事にする人は、自然と周りの人の良さにも気づき、互いに認め、高め合うことができます。ごく自然に、「思いやり」も身につけていきます。

旭中学校には、いろいろな人がいます。「みんなちがって、みんないい」。相手のよさや違いを認め合う態度や思いやりの心を育てていきましょう。

今年もあとわずかになりました。コロナに振り回され、大変な1年でした。でも、きっと先には明るい未来があると信じています。皆様にとりまして、令和3年がこれまでも増して、よりよい年となりますよう祈念いたします。どうぞよいお年をお迎えください。

With コロナ！！ 感染予防の3つの習慣！！



新しい生活様式



教育環境の整備

2019年12月に文部科学省から発表されたプロジェクトであるGIGAスクール構想(Global and Innovation Gateway for All)により、全国で「小中学校の児童生徒1人に1台PCを」という動きが始まりました。今年4月に閣議決定された政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」で、2023年度までに整備を完了する予定だったのを、2020年度補正予算案に総額2292億円を計上することで、少しでも早期実現を図ろうとしました。尾張旭市も、来年度から全児童生徒が活用できるように、環境整備を着々と進めています。

先月には、高速大容量の通信ネットワークを整備するために、校内LANの容量を増強する工事が行われました。今まで教室で使っていたタブレット端末は40台だったので、1人1台となると、その20倍以上の台数が稼働することになり、それに耐えるシステムが必要となります。

さらに先日、生徒1人に1台貸与されるタブレット端末とキーボードが学校に配送されてきました。これから1台1台使えるように設定をしていきます。

生徒1人1台端末の整備がされることで、多様な状況の子どもたちそれぞれに最適化された教育を実現できると考えられています。ICTを基盤とした先端技術を活用して、子どもの力を最大限に引き出す学びを実現するために、今後教員も活用のための研修を受ける予定となっています。



1年生は体力テスト



本来なら1学期の5月ごろに行っていた体力テスト。今年度は休校期間が明けたのが5月の末で、Stay homeの影響もあり、運動する機会があまりなかった生徒も多かったため、旭中では体力テストの実施を見送っていました(県全体でも同様)。2学期も終わりが近づき、単元の切り替わりに合わせ、1年生は体力テストを行っています。

ほとんどの種目は小学校時代と変わりませんが、中学生になると、ソフトボール投げから、ハンドボール投げに種目が変わります。

小学校の頃から、身体は成長した人が多いと思いますが、体力テストの記録は伸びましたか。激動の1年でしたが、今年成長したことを振り返りよい冬休みにしてください。

学校閉校日のお知らせ

冬季休業中の12月28日(月)と1月4日(月)は学校閉校日となります。この期間、学校への電話は通じませんので、緊急の場合は、市役所教育行政課におかけください。

○ 市役所教育行政課：TEL 0561-76-8178 ※時間外や年末年始休業期間【12月29日(火)～1月3日(日)】は市役所代表電話：TEL 0561-53-2111】